



現場から（最近のニュースから）

強みの種



いよいよ 2025 年の最後の月になりました。世の中はどんどんあわたたしくなっているので、それに流されるだけで、ほんとうに自分のやりたいことは後回しにしていた、気づいたら、自分のやりたいことがなかったかすら分からなくなっていることもあるでしょう。あなたは、やりたいこと、目標を達成して生きておられますか。

多くの人がやりたいことがない、見つからないと悩んでいるので、その人々に『「やりたいこと」はなくてもいい。』（ダイヤモンド社刊）の著者・しずかみちこさんが、やりたいことを無理に探さなくても、日々が充実し、迷いがなくなり、自分らしい「道」が自然に見えてくる方法があると紹介している記事がありました。

しずかさんは、本の中で「やりたいこと」や「目標」を無理に見つけるのではなく、「自分の強みの種」に気づこうと言われます。ただ「自分の強みの種」に気づいて育てるのは、難しいので、その強みの種に気づくためのアドバイスをされています。「自分の強みは、だれから必要とされていないと思う」ということに対しては「必ずその強みを必要とする人はいる。その強みが発揮できるのがどういうときなのかを理解していないだけ」と言われます。それゆえ、自分の強みの種を使うとしたら、どのような場面かを考えてみたり、実際に小さな場面で使ってみたり、役立ったか、だれかに喜んでもらったかを記録していくことを試すように言われます。

また、自分より上手な人がいるというのは、無意味な比較であり、場合や場所で求められることは違うので、比較しないようにということです。例として、同じ「料理が得意」という強みの種を持つ人でも、高級レストランのシェフと大衆的な町中華の料理人では求められるものが違うと言われます。それゆえ、自分より上手な人がいると思っている自分の強みの種を考えてみて、それが育ったらどんな場面でいかせるかを考え、自分のレベルだからこそ価値がある状況を考えてみようと言われます。

世界を広げて「強みの種」を刺激して、自分を深めて「強みの種」を芽吹かせ、「強みの芽」の成長に邪魔するものを取り除いていると、「強みの花」が咲き自然に「道」が見えるのだと本に書いているということです。（11 月 22 日 DIAMONDOnline<【「やりたいこと」はなくてもいい。】自分には何の強みもないと思っている人が見逃しているもの>）

人はそれぞれ違いがあって、いろいろな分野でそれぞれが役立っています。それなのに、自分が役立っているかどうか分からないと「自分なんていない」という思いに捕らわれてしまうこともあるでしょう。それは、すべて自分の考えによって見ているからです。自分がやりたい、自分が価値があると思う、すべて自分の考えにすぎません。「世界を広げて」と本で言われているように、その考えが違うことも多いのです。自分がいままで知らなかった世界を見て、その中で自分が生きている意味を明確に知るなら、自分の弱さすら必要だと分かってきます。いままで知らなかった世界、自分の存在する意味を正しく見るにはどうしたら良いのでしょうか。それについてあなたにお分かちしたいことがあるのです。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださいましたことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」